

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ヘブル 3:12-4:3
賛美	叫べ 喜べ (Faith03 vol1 #2) 96
賛美	救いの岩 (Faith03 vol1 #3) 97
使徒信条	会衆一同
交読文	39
祈り	
メッセージ	見えている事と見えていない事－2(ヨハネ9章)
祈り	
賛美	叫べ 喜べ (Faith03 vol1 #2) 96
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽

祝福の御言葉 自分にあてはめて祈りましょう

福音を説き聞かされていることは、私たちも彼らと同じなのです。ところが、その聞いたみことばも、彼らには益になりませんでした。みことばが、それを聞いた人たちに、信仰によって、結びつけられなかったからです。(ヘブル 4:2)

安息日の休みは、神の民のためにまだ残っているのです。神の安息にはいった者ならば、神がご自分のわざを終えて休まれたように、自分のわざを終えて休んだはずです。ですから、私たちは、この安息にはいるよう力を尽くして努め、あの不従順の例にならって落後する者が、ひとりもないようにしようではありませんか。(ヘブル 4:9-11)

どうか、私たちの主イエス・キリストの神、すなわち栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊を、あなたがたに与えてくださいますように。

また、あなたがたの心の目がはっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのようなものか、聖徒の受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか、

また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知る事ができますように。(エペソ 1:17-19)

メッセージ概要

イエスに癒された盲人の存在は周囲に大いなる議論と分裂を生み、人々は彼を当時の宗教指導者パリサイ人の所に連れて行ったが、議論は大きくなるばかりで、彼は何度も同じ説明をしなくてはならなかった。(ヨハネ 9:8-34)彼は産まれて初めて味わった「視覚」の感覚を早速存分に楽しめたかという、そうでもない。すその長い服を着、額に経札をつけ、目を三角にして口から唾を飛ばす大勢のパリサイ人を目の当たりにしながら、ありのままイエスがした事、自分に起こった事を何度も何度も説明する事となる。

パリサイ人が経札の幅を広くしたり衣のふさを長くしたりするのは、人に見せるため(マタイ 23:5)である。なまじ普通の人間なら、威儀を正した外見の者達に畏れを抱くが、癒していただいた盲人は元々外見というものを知らず、人目を気にするという素養も無い。ディペードスキルも無く、素直すぎるほど素直に対応する他なかった。両親の庇いもなく、最後には会堂を追放されてしまうが、逆に幸いして、イエスを主とする事ができた。

パリサイ人の言い分は「イエスが安息日を守らない」だが、何をして良い悪いという「善悪」の路線には矛盾が生じ(マタイ 12:5、ヨハネ 7:22)、その議論に終りは無く、不健全さと多くの「頑張り」がある。対してイエスが示されたのは「いのち」を得、それを豊かにする(10:10)路線であり、健やかさと安息がある。彼らがイエスを反対する根本的な理由は、彼らは人の上に立ち大勢の人たちに注目されたいからで、彼らよりも上に立つ者出てもらっては困るからである。見た目を良くして上に立ち、行動と言葉を駆使して自己を確保したいという欲求のルーツは何だろうか。

*創世記 2:9 園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木とを生えさせた。
創世記 3:7 このようにして、ふたりの目は開かれ、それで彼らは自分たちが裸であることを知った。そこで、彼らは、いちじくの葉をつづり合わせて、自分たちの腰のおおいを作った。*

人は、神抜きで自分で善悪判断するという「目」が開かれた結果、裸である事を知り、いちじくの葉によって取り繕いをするようになった。

「いちじくの葉」は自分の裸の恥を覆うものとして歴史の中で進化してゆき、色々な形を取るようになる。カインの時代になると、集団で町を建造する事、農畜や文化、技術開発などによって自己能力を磨く事となり、やられたら何倍にもして仕返しするような強い者が生き残る世の中となっていた。(創世記 4:17-26)

パリサイ人達は膨大な言葉を用いた弁論という「いちじくの葉」や、外見の繕いによって自分の裸を隠そうとしたが、真に裸の恥を覆う事ができるのは、主が用意した衣だけである。

この「神抜きの取り繕い」といういちじくの葉は、弱肉強食の世界では大いに通用するものの、神の御前には全く通用しないどころか、大いに有害である。

いちじくの葉はいつの時も主の働きの邪魔をし、人間の好き勝手な「白を黒に、黒を白にする」言葉の議論によってキリストのわざを無いもののようにし、それどころか、キリストの結んだ多くの良き実を傷つけてきた。

主は、そのような人のわざに対して、どのように語られるか。

黙示録 3章にラオデキヤの教会へのメッセージがあるが、「ラオデキヤ」の意味は民(λαο s)「ラオス」と(δικια)「デキア」の合成語で民の主張(民主主義)と言う意味。

主義主張や能力開発によって多くを手に入れた者は、自分は富んでいる、豊かになった、乏しいものは何も無いと言っているが、実は自分がみじめで、衰れで、貧しくて、盲目で、裸の者であることを知らない。そのような者には金、白い衣、目薬を買うよう薦められているが、火で精練された金は訓練された信仰(1 ペテロ 1:7)を、白い衣は子羊の血(黙示録 7:14)を、目薬はイエスによって練られた泥(ヨハネ 9 章)を暗示する。

最初の人アダムは泥に神の息を吹き込まれて創られたが、罪と死が入ってしまった。イエスの口から出た泥によって覆われ、洗われた者こそまことのいのちに与り、信じた者こそ自分のわざを休んで安息に入る事ができるのである。(ヘブル 4 章)

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

天声教会

1部礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

- 1部(日本語) 10:00
- 2部(韓国語 日本語通訳あり) 11:00
- 食事/フェローシップ 12:30~
- 3部(韓国語 日本語通訳あり) 14:00

月~金 集会 早天祈祷会 5:00~
祈祷会 20:00~

水曜集会 1部(韓国語) 13:00~
2部(日本語) 19:30~

金曜徹夜祈祷会 21:00~

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅 6番出口より徒歩5分

JR・関内駅より徒歩10分

京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿いの、伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、1Fがファミリーマートになっております。

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

email: ephes_03-r@yahoo.co.jp